

神奈川から広げよう

～ともに生きる学校・ともに生きる社会～

「風よ吹け！未来はここに！！」ドキュメンタリーDVD 上映会と意見交換会

たんの吸引や、経管栄養、胃ろう、導尿などは、生きるために必要な生活支援行為です。しかし、医療的ケアが必要なために、学校や社会での生活に多くの制約があります。

医療的ケアってどういうもの？ 医療的ケアや人工呼吸器が必要な人たちはどんなふうに暮らしているの？

医療的ケアや人工呼吸器を必要としながら暮らす子どもたちや人たちの姿にふれてみませんか？ そして、どうすれば、医療的ケアや人工呼吸器が必要でも、地域でともに学び、ともに生きられるのか一緒に考えていきましょう。

いつも人工呼吸器を携えて
自らの人生を楽しむ子どもたちの
姿を知ってください



ダイジェスト版がこちらからご覧いただけます
<https://youtu.be/wfVwMxEyL40>

2018年7月21日(土)

13:00～開場/受付

13:30～14:30 上映会

14:45～16:30 意見交換会

会場 川崎市大山街道ふるさと館
(2階 イベントホール)
(川崎市高津区溝口 3-13-3)

参加費 無料 ※申込書は裏面
(定員 60名 先着順)

※資料準備の都合上、なるべく事前にお申し込み下さい。
※手話通訳等必要な方の申し込み〆切は7月11日です。



大山街道ふるさと館アクセス

JR 南武線 武蔵溝ノ口駅: 徒歩 7分

東急田園都市線/大井町線 溝の口駅: 徒歩 7分

東急田園都市線 高津駅下車: 徒歩 5分

主催 バクバクの会～人工呼吸器とともに生きる～

後援 神奈川県、神奈川県教育委員会、川崎市、川崎市教育委員会、社会福祉法人キャマロード、

社会福祉法人三篠会 重症児・者福祉医療施設 ソレイユ川崎、NPO 法人 療育ねっとわーく川崎

助成 タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2016



川崎のバクバクっ子
和希くん！

呼吸器をつけた子どもたち、大人たちも参加します！

光管和希くん
2011年11月14日生まれ
神奈川県川崎市宮前区在住
先天性ミオパチーにより、生後7ヵ月から人工呼吸器を使用。
退院から5年、大きく体調を崩すこともあまりなく、家族で出かけたり、柿の実幼稚園に入園し運動会や発表会など行事にも参加し沢山のお友達と共に過ごしてきました。今年度、小学校就学で地域の学校を希望しましたが、市教委により養護学校に進学させられました。



相模原市のバクバクっ子
凜音さん！



田嶋凜音さん
2014年11月25日生まれ
神奈川県相模原市在住
低酸素脳症により、生れてすぐに人工呼吸器を使用。お出かけ♪が大好きで、地域の療育園に通っています。そろそろ小学校のことが心配になっています。

《お申し込み/お問い合わせ》

バクバクの会～人工呼吸器とともに生きる～

〒190-0033 東京都立川市一番町 5-2-4-612 (担当：星名)

TEL/FAX：042-569-2155 E-Mail：bakuinfo@bakubaku.org

下記、必要事項をご記入の上、E-Mail (HP からもお申し込みできます)・FAX・はがきのいずれかでお申し込みください。 HP：https://www.bakubaku.org/

※『個人情報保護に関する確認事項』申込書にご記入頂いた個人情報は、参加人数の把握及び内容変更・中止等のご連絡が目的であり、ご記入頂いた情報は第三者に提供することはありません。

FAX 用 お申込書	代表者のお名前 (ふりがな)		参加人数 名
住所 (〒 -)		E-Mail	
電話番号		FAX 番号	
所属 (○をつけてください) 当事者・家族・保育・教育・医療・保健・福祉関係・行政・学生・その他 所属名 (あれば)			
《必要とする配慮事項など》 該当する項目がありましたら、○で囲んでください。 1、車いすの使用と介助者の同行について ・車いすの使用 (車いす ・ ストレッチャー式車いす) ・電源使用 (あり ・ なし) ・介助者の同行 (名) 2、情報保障について (手話通訳 ・ 要約筆記) ※手話通訳者等手配のため、必要な方は7月11日までにお申し出ください。			